

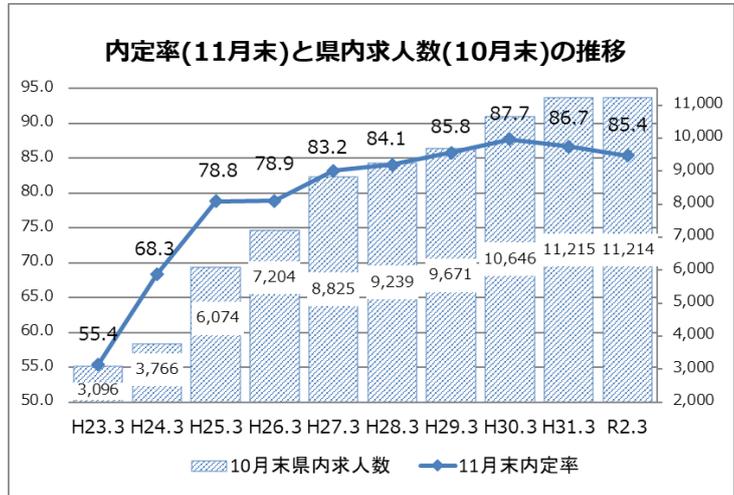
キャリア教育だより

令和元年12月23日

第98号

高校教育課

令和2年3月高等学校卒業予定者の11月末現在の就職内定率(高校教育課調べ)は、就職希望者4,584人に対し、内定者3,914人の85.4%となり、引き続き順調に推移しています。内定者の内訳は、県内3,058人、県外856人、職安・学校紹介3,463人、公務員337人、縁故・自営114人となっています。宮城労働局の発表では、県内の高卒求人も順調に増加し、10月末時点で11,214人、県内就職希望者に対する求人倍率は3.58倍となっております。未内定の皆さんは、進路指導の先生方とよく相談し、内定を得られるまで、引き続き諦めずに取り組んでいきましょう。



知っておこう！電話のマナー ～社会人の心構え②～

1 見えないからこそ「声」を大切に

- ・声の調子や話し方が約8割、言葉遣いが約2割の印象を決める
- ・第一印象は10～15秒で決まる

10～15秒で話せる内容

「〇〇会社営業部の高橋です。いつも大変お世話になっております。恐れ入りますが、営業部の山田様をお願いいたします。」



2 基本三原則

(1) 3コール以内に電話を受ける

- ・3コール以内・・・(例)「お電話ありがとうございます」
- ・4コール以上のとき・・・(例)「お待たせいたしました」「大変お待たせいたしました」

(2) 情報を正確に聞き取る

- ・会社名や名前は復唱して確認する
- ・同音異義語や数字などは、間違えないように言い換えて確認する
(例) 化学(かがく) → 「ばけがく」に言い換えて確認する
7(しち) → 「なな」に言い換えて確認する ※1(いち)と間違えやすい

(3) 確実に伝える

- ・メモをとりながら聞き取り、最後に復唱して確認する
- ・いつ、どこで、誰が、何のために、どのように、いくら(価格や数量)



3 携帯電話やスマートフォンでのマナー

- ・聞かれて困ること(社外秘・個人情報)は話さない
- ・電話をかけるときは、静かな場所・電波状況の良い場所からにする
- ・電話がかかってきたときは、受けてもよい状況か判断する
- ・会議などの場では、マナーモードに設定する・電源を切るなどの対応を取る
- ・スマートフォンでメモを取ったり調べ物をしたりする場合は、相手に断ってからにする
→ 何も言わずに操作していると、話を聞かずに遊んでいるような印象を与える



「みやぎ高校生入社準備セミナー」テキストより